

へえ～! そうだったのかあ!

30～60cmぐらいの細長い莖の先端に1.5cmほどの槍先やりのようなつぼみを付けた植物が、遊歩道の隅に並んでいます。多数生えていると大名行列での槍の行列のように見えることから、「センボンヤリ」と名付けられました(写真①)。その年の気候にもよりますが、10月下旬から11月上旬にかけて花を付けます。

センボンヤリが秋に付ける花は「閉鎖花」と呼ばれ、花びらのようなものが少し顔をのぞかせる程度でこれ以上開きません(写真②)。閉鎖花は一般的な開放花とは違い、閉じたまま自家受粉し種子を作ります。こうすることで、環境条件の悪化にも適応できるといわれています。12月頃になるとタンポポのような綿毛の種子を付け、子孫を増やします(写真③)。

ところで、センボンヤリは“ムラサキタンポポ”とも呼ばれます。筆者は、種子がタンポポに似ているからだと思っていましたが、調べてみるとそうではありませんでした。春になるとタンポポに似た花を咲かせ、その花びらの裏が紫色をしていることからこう呼ばれるそうです。春と秋に全く違う種類の花を咲かせて生き延びているのですね。「へえ～! そうだったのかあ」と、自然の不思議さと仕組みの緻密さに感動しました。春には“ムラサキタンポポ”にぜひ会いたいと思っています。



森の
日記

誰もがびっくり! 草木染め教室
9月21日(日)

タマネギの薄皮、マリーゴールドの花びら、クリのイガ、ドングリ、カリヤスなどの植物を大鍋でぐつぐつと煮込みます。その中に折ったり、輪ゴムで留めたり、縛ったりした白い布を入れてしばらく煮込んだ後、銅やアルミニウムなどの焙煎液に浸すと、アラ! 不思議。白い布が紫色や黄色、桃色に変化しました。



白い布が紫色や黄色、桃色に変化しました。

輪ゴムなどを外して折り目を開くと、きれいな模様が浮かび上がってきました。参加者の皆さん、素晴らしい作品ばかりでしたね。自然って不思議ですね。



教室のご案内

11月
葉っぱのしおり作り教室 (要申込・定員20人)

11月9日(日)
午前9時～11時30分
色づいた葉っぱを採集し、しおりを作ります。



バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
11月23日(日) 午前9時～11時30分
晩秋の野鳥を観察します。

12月
バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
12月21日(日) 午前9時～11時30分
初冬の野鳥を観察します。

お知らせ

12月28日(日)～1月3日(土)は、休園します。

